

会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	令和6年度高松市中小企業勤労者福祉共済事業運営審議会
開催日時	令和6年8月20日（火）10時00分～11時10分
開催場所	高松市役所本庁舎11階 113会議室
議 題	(1) 会長及び副会長の選任について (2) 令和5年度高松市中小企業勤労者福祉共済事業運営報告について (3) 高松市中小企業勤労者福祉共済事業決算状況について (4) 高松市中小企業勤労者福祉共済事業の今後の運営方針（案）について (5) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	今城会長、玉井副会長、小野委員、井出委員、内藤委員
傍 聴 者	0人（定員5人）
担当課及び 連絡先	産業振興課 産業支援・労政係 839-2411

審議経過及び審議結果

議題（1）会長及び副会長の選任について
会長は今城委員、副会長は玉井委員に決定。

議題（2）令和5年度高松市中小企業勤労者福祉共済事業運営報告について
（事務局）
配付資料をもとに説明

（異議なし）

議題（3）高松市中小企業勤労者福祉共済事業決算状況について
（事務局）
配付資料をもとに説明

（異議なし）

議題（4）高松市中小企業勤労者福祉共済事業の今後の運営方針（案）について
（事務局）
配付資料をもとに説明

（委 員）
中小企業勤労者福祉共済基金が現在の減少ペースだと、約13年後に尽きると話があったが、令和5年度の実質収支と基金残高では13年間も維持できないと考えられるが。

(事務局)

基金残高のシミュレーションには、被共済者数の減少率等を含めた計算となっている。御指摘のとおり、状況によっては13年間維持できない可能性はある。

(委員)

被共済者の年齢層はどのような分布なのか。

(事務局)

最も多いのが40代で26%程度、次いで、50代で24%程度、それから30代が18%程度となっている。

(委員)

今後は退職等の給付が増えていくのではないか。

(事務局)

被共済者の加入年数を見ると、年齢にかかわらず、5年未満が30%以上を占めており、全体の半分以上が10年未満の加入年数となっている。

(委員)

事務局の説明を聞いても、現在の労働者は終身雇用といった考えがなくなっていると感じる。

月額掛金を800円に値上げしたとしても、事業内容を据え置くと赤字となるなら、掛金の値上げと事業内容の見直しを同時に行うのはどうか。掛金の値上げ時期を引き延ばすよりは、物価が上がっている今が適時ではないか。

(事務局)

物価高騰により企業の経営が厳しいと聞く。掛金を据え置いて事業の見直しを実施したとしても、令和8年度は150万円程度の赤字予想となっているが、収支バランスがとれるよう、さらに経費削減ができないかを検討している。数年先、それでもなお、赤字となるなら、そのタイミングで値上げを検討したいと考えている。

(委員)

金利の上昇傾向から、今後はもっと経営状況が厳しくなるといった予測もある。現在は3割程度の物価高騰であり、賃金が追いついていないといった議論はあるが、月額掛金を事業所50円、従業員50円の100円上げすることは可能ではないか。例えば、掛金を値上げするだけでなく、出産祝金を増額するなど、両案の良いところを抽出するもの良い。また、こういった福利事業は、企業単独では実施が難しいため、残して欲しいと思う。

(委員)

現在のサービスでも毎日のように利用している。そういうことから、月額掛金を800円にするのが良いと考えている。退職せん別金については、5年未満の給付を廃止しても問題ない。また、出産祝金の増額には賛成する。

(委員)

給付事業に、死亡弔慰金、傷病見舞金があるが、特に傷病見舞金は、労災や、傷病手当など、公的なものが充実していることから、必要ないと考えている。申請忘れも多いのではないか。

(事務局)

傷病見舞金は実施していないが、永年勤続慰労金等については、被共済者から要望があり、市側から毎月対象者のリストと申請書を送付している。経費削減のため、送付回数を年に1回とすることも検討している。

(委員)

郵送代も含めて、経費は全体的に上がっているため、月額掛金が倍になるとか2,000円になるとかでなければ、100円値上げは受け入れやすい金額だと感じる。

(事務局)

収入である掛金を上げる前に、まずは経費の削減ができないかを検討しているところだが、再度検討したい。

(委員)

会報誌について、発行回数を削減すると、月ごとのコンサートなどが掲載できないのではないかと。また、何らかの情報を伝える際に、伝達が遅くなってしまわないかと。

(委員)

会報誌の発信方法を見直すことも必要ではないかと。ネット配信やホームページへの誘導を実施し、紙はコンパクトなものにして、経費を削減するのも良いのではないかと。

(事務局)

事業の見直しによる支出の削減については、委員の了解が得られたと考えているが、掛金の値上げに関しては、委員の御意見を基に、再度検討したい。

(委員)

支出の削減ということは、サービスの低下となり、被共済者の退会が増加する可能性もあることから、折衷案として、経費削減の努力は行いつつ、掛金の値上げも実施するのが良いのではないかと。

(事務局)

掛金値上げと支出の削減を含めたシミュレーションを実施し、検討したい。

議題(5) その他

(審議事項なし)